

急性中毒症例調査用紙

検査

臨床化学検査成績 (別紙添付でも可)

検査項目	正常値	(単位)	月 日		月 日		月 日		月 日		月 日	
			時	分	時	分	時	分	時	分	時	分
赤血球(RBC)												
白血球(WBC)												
血糖(BS)												
AST(GOT)												
ALT(GPT)												
LDH												
クレアチンキナーゼ(CK)												
コリンエステラーゼ(ChE)												
アンモニア(NH <sub>3</sub> )												
総ビリルビン(TB)												
PT												
PTT												
BUN												
クレアチニン(Crn)												
ナトリウム(Na)												
カリウム(K)												
カルシウム(Ca)												
無機リン(IP)												
マグネシウム(Mg)												
メトヘモグロビン(MetHb)												
COヘモグロビン(COHb)												
FiO <sub>2</sub>	—											
pH												
PO <sub>2</sub>												
PCO <sub>2</sub>												
BE												
HCO <sub>3</sub> <sup>-</sup>												

その他検査

検査項目	検査日	時刻	所見	特記事項
単純X線撮影	月 日	時 分		
CT	月 日	時 分		
MRI	月 日	時 分		
超音波検査[エコー]	月 日	時 分		
内視鏡検査	月 日	時 分		
心電図検査(EKG)	月 日	時 分		
心臓カテーテル	月 日	時 分		
脳波検査(EEG)	月 日	時 分		
脳誘発電位	月 日	時 分		
体性感覚誘発電位(SEP)	月 日	時 分		
筋電図検査(EMG)	月 日	時 分		
呼吸機能検査	月 日	時 分		
フローボリュームカーブ	月 日	時 分		
呼気ガス分析	月 日	時 分		
標準聴力検査	月 日	時 分		
平衡機能検査	月 日	時 分		
眼底検査	月 日	時 分		
基礎代謝率	月 日	時 分		
病理組織検査	月 日	時 分		
	月 日	時 分		

## 急性中毒症例調査用紙

## 治療 1

治療大分類	治療小分類	内容								
表面除染	皮膚除染	月	日	時	洗浄液		総洗浄量	L		
	眼洗浄	月	日	時	洗浄液		総洗浄量	mL		
	その他									
希釈	希釈(水・ミルクの摂取)	月	日	時	摂取物質		摂取量	mL		
消化管除染	消化管除染の有無	1. 無し, 2. 有り								
	胃洗浄	月	日	時	洗浄液		総洗浄量	L		
	催吐-物理刺激	月	日	時						
	催吐-吐根投与	月	日	時						
	活性炭投与	月	日	時	投与物質		投与量	g		
	その他の吸着剤投与	月	日	時	投与物質		投与量	g		
	下剤投与	月	日	時	投与物質		投与量	g		
	腸洗浄	月	日	時	洗浄液		総洗浄量	L		
	内視鏡的除去	月	日	時						
	その他									
対症療法 ・支持療法	酸素マスク	1. 無し, 2. 有り		心マッサージ	1. 無し, 2. 有り					
	挿管	1. 無し, 2. 有り		除細動	1. 無し, 2. 有り					
	人工呼吸	1. 無し, 2. 有り		ペースメーカー	1. 無し, 2. 有り					
	輸液	1. 無し, 2. 有り		加温	1. 無し, 2. 有り					
	輸血	1. 無し, 2. 有り		冷却	1. 無し, 2. 有り					
	アシドーシスの補正	1. 無し, 2. 有り								
	抗痙攣剤の使用	1. 無し, 2. 有り								
	昇圧剤の使用	1. 無し, 2. 有り								
	その他									
	解毒剤 ・拮抗剤	解毒剤・拮抗剤の使用	1. 無し, 2. 有り							
アトロピン		経路(静注・その他)		一回投与量	mg×	回	期間	月	日～月	日
ヨウ化プラリドキシム (PAM)		経路(静注・その他)		一回投与量	mg×	回	期間	月	日～月	日
アセチルシステイン		経路(経口・その他)		一回投与量	mg×	回	期間	月	日～月	日
塩化カルシウム		経路(静注・その他)		一回投与量	mg×	回	期間	月	日～月	日
グルコン酸カルシウム		経路(経皮・皮下注・その他)		一回投与量	mg×	回	期間	月	日～月	日
亜硝酸アミル		経路(吸入・その他)		一回投与量	mL×	回	期間	月	日～月	日
亜硝酸ナトリウム		経路(静注・その他)		一回投与量	mg×	回	期間	月	日～月	日
チオ硫酸ナトリウム		経路(静注・その他)		一回投与量	mg×	回	期間	月	日～月	日
ヒドロキシコバラミン		経路(静注・その他)		一回投与量	mg×	回	期間	月	日～月	日
メチレンブルー		経路(静注・経口・その他)		一回投与量	mg×	回	期間	月	日～月	日
ジメルカプロール (BAL)		経路(筋注・その他)		一回投与量	mg×	回	期間	月	日～月	日
デフェロキサミン		経路(静注・その他)		一回投与量	mg×	回	期間	月	日～月	日
EDTA (エデト酸カルシウム二ナトリウム)		経路(静注・その他)		一回投与量	mg×	回	期間	月	日～月	日
ペニシラミン	経路(経口・その他)		一回投与量	mg×	回	期間	月	日～月	日	

急性中毒症例調査用紙

治療 2

治療大分類	治療小分類	内容	一回投与量	mL×	回	期間	月	日	～	月	日
	エタノール	経路(静注・経口・その他) 使用物質・濃度( )									
	葉酸	経路(皮下注・筋注・その他)	一回投与量	mg×	回	期間	月	日	～	月	日
	メナテレノン (ビタミンK2)	経路(静注・筋注・その他)	一回投与量	mg×	回	期間	月	日	～	月	日
	フィトナジオン (ビタミンK1)	経路(静注・筋注・その他)	一回投与量	mg×	回	期間	月	日	～	月	日
	フィソスチグミン	経路(静注・その他)	一回投与量	mg×	回	期間	月	日	～	月	日
	ナロキソン	経路(静注・その他)	一回投与量	mg×	回	期間	月	日	～	月	日
	ダントロレンナトリウム	経路(静注・その他)	一回投与量	mg×	回	期間	月	日	～	月	日
	フルマゼニル	経路(静注・その他)	一回投与量	mg×	回	期間	月	日	～	月	日
	メシル酸フェントラミン	経路(静注・筋注・その他)	一回投与量	mg×	回	期間	月	日	～	月	日
	グルカゴン	経路(静注・筋注・その他)	一回投与量	単位×	回	期間	月	日	～	月	日
	グルコース	経路(静注・その他)	一回投与量	mg×	回	期間	月	日	～	月	日
	ピリドキシン	経路(静注・皮下注・筋注・その他)	一回投与量	mg×	回	期間	月	日	～	月	日
	抗蛇毒血清	投与物質	一回投与量	単位×	回	期間	月	日	～	月	日
	その他の抗毒素血清	投与物質	一回投与量	単位×	回	期間	月	日	～	月	日
	高圧酸素療法(OHP)	月 日		気圧×	時間						
	その他										
排泄促進	強制換気	1. 無し, 2. 有り				月	日				
	強制利尿	1. 無し, 2. 有り				月	日				
	血液透析	1. 無し, 2. 有り				月	日		時間×	回	
	腹膜透析	1. 無し, 2. 有り				月	日		時間×	回	
	血液灌流・吸着	1. 無し, 2. 有り				月	日		時間×	回	
	血液限外濾過	1. 無し, 2. 有り				月	日		時間×	回	
	血漿交換	1. 無し, 2. 有り				月	日		回		
	交換輸血	1. 無し, 2. 有り				月	日		回		
	その他										
無処置	経過観察	1. 無し, 2. 有り									
	拒否	1. 無し, 2. 有り									

その他 治療関連 特記事項

原因化学物質	分析の有無	1. 無し, 2. 有り (定性・定量)	検体: 血清・尿・その他( )
	化学物質名		
	分析方法		
結果	検体採取	月 日 時 分	定量値 単位 特記事項
		月 日 時 分	
		月 日 時 分	

症例サマリー 貴施設のサマリー添付でも結構ですが、個人が特定されない形式でお願い致します

---

主治医コメント 中毒原因物質と症状の因果関係等を含め、先生のお感じになったことをお書きください

# 倫理審査委員会用資料

# 研究計画書

## 1. 研究題目名

化学物質リスク評価におけるヒトデータの利用に関する研究

[平成15年度厚生労働科学研究費補助金（化学物質リスク研究事業）による多機関共同研究]

## 2. 研究の背景

従来、化学物質のリスク評価は、動物実験の毒性値（LD<sub>50</sub>値等）が用いられてきたが、ヒトで発現する毒性への外挿は困難であり、かつ、近年は、動物愛護の観点から動物を使用した毒性実験は必要最小限にとどめられている。代わって、ヒト培養細胞等での毒性評価も試みられているが、それによるリスク評価は困難である。新規化合物が次々と市場に登場する一方、化学物質がヒトへ及ぼす影響、毒性の予測はますます困難な状況になっている。このような現状にもかかわらず、本邦では化学物質によるヒト中毒症例のデータを収集し、それを利用して化学物質のリスク評価を試みた研究は、小規模なもののごく少数あるにとどまっている。

一方、International Programme on Chemical Safety (IPCS: WHO, ILO, EPNの協同プログラム) は、2001年、イギリスのエジンバラにおいて、中毒臨床医・中毒情報提供者と、リスク評価担当者・毒性学者の相互理解を深めるための会議を開催した。会議では、両者に加え、毒物分析者、法医学者、労働衛生学者等の研究者にも広く呼びかけ、化学物質のリスク評価のためのヒト症例収集が必要であることが訴えられた。この会議を受けて、IPCSは2002年、世界各地の7つの中毒センター（イギリス、フランス、スイス、ドイツ、オーストラリア、ウルグアイ、日本）に協力を依頼し、ヒト症例収集のための準備研究を開始した。エチレングリコール、フッ化水素等7つの化合物について、各中毒センターから、該当するヒト中毒症例データが集められ、収集方法、評価方法等の問題点が検討されている。本邦からは、日本中毒情報センターがこの準備研究に参加し、ヒトデータの利用に関する研究の緒についたばかりである。

そこで、原因化学物質の血中濃度等の分析値を含むヒト急性中毒症例を、全国的に、かつ、統一フォーマットで収集するシステムを構築することが急務と考えられるに至った。それによって、収集した急性中毒症例の分析値と臨床症状を比較検討し、血中濃度から発現症状や重症度を予測したり、体内動態をシミュレーションすることにより予後を推定する等、ヒトデータを利用した化学物質のリスク評価手法を開発することができる。さらに、こうした研究結果は、医療行政面では全国における中毒事例（健康被害事故）の実態の把握、一般市民へは化学物質による健康被害を防ぐための啓発活動、医療機関へは中毒患者の予後推定や治療のための情報提供、企業へは化学物質の安全管理、一般商品の改良の指導等の波及的効果が期待され、国民の安全な生活確保に寄与し得る。

## 3. 研究実施体制

### 3.1 研究代表医師

研究代表者：杉本 侃 （財）日本中毒情報センター 理事長

所属先住所：〒305-0005 茨城県つくば市天久保1丁目2番地

TEL：029-856-3566 FAX：029-856-3533

研究実施責任者：吉岡敏治 大阪府立急性期・総合医療センター 医務局長

所属先住所：〒558-8558 大阪府大阪市住吉区万代東3-1-56

TEL：06-6692-1201 FAX：06-6695-3399

### 3\_2 研究計画作成委員

研究班員：白川洋一 愛媛大学医学部救急医学 教授  
研究班員：屋敷幹雄 広島大学大学院医歯薬学総合研究科法医学 助教授  
研究班員：大橋教良 筑波メディカルセンター病院 副院長兼救急部部長  
研究班員：黒木由美子 (財)日本中毒情報センター つくば中毒 110 番 施設長  
研究班員：波多野弥生 (財)日本中毒情報センター 大阪中毒 110 番 情報提供課 課長

### 3\_3 症例収集機関

以下の医療機関から本研究への参加機関を募る。ただし、本研究への参加にさいして、本研究計画書および説明文書等が各機関の倫理審査委員会、機関審査委員会 (IRB; Institutional Review Board)、あるいは臨床研究の審査委員会等で承認されていなければならない。

- 1) 救命救急センター
- 2) 大学附属病院の救急部門
- 3) その他、重症急性中毒患者を扱う医療機関

### 3\_4 試料分析機関

#### 3\_4\_1 一般臨床検査および一部の薬毒物分析

ヒト急性中毒症例収集に協力する各医療機関の検査室等

#### 3\_4\_2 特殊定量分析

代表分析機関：広島大学大学院医歯薬学総合研究科法医学教室

協力分析機関：ヒト生体試料を用いた精密定量分析を行っている日本全国の研究機関のうち、代表分析機関の呼びかけに応じていただける機関。現在、リストアップ作業の途中である。

### 3\_5 データマネジメント委員会

データマネジメント委員会を日本中毒情報センター内におき、データの保管・管理、症例識別番号の暗号化およびキーコードの保管、各症例の取り扱い等を検討する。その委員は5名の研究班員(上記 3\_2 研究計画作成委員)が兼務し、その業務には日本中毒情報センター職員が協力する。

## 4. 研究の目的

本研究の第一の目的は、ヒト急性中毒症例のデータを原因化学物質の血中濃度等の分析値を含めて、全国的に、かつ、統一フォーマットで収集することである。症例収集にあたるのは、全国の救命救急センター、大学附属病院、その他の重症急性中毒患者を扱う医療機関が担当し、一方、特殊な化学物質の定量分析にあたるのは、代表分析機関(広島大学大学院医歯薬学総合研究科法医学教室)に統括される協力分析機関のネットワークである。

収集された急性中毒症例のデータは、データマネジメント委員会による厳格な管理のもと、さらに多くの研究者の協力により、以下のような目的に利用される。1) 分析値と臨床症状を比較検討

し、血中濃度から発現症状や重症度を予測する手法の確立、2) 体内動態をシミュレーションすることにより予後を推定する手法の確立、3) 急性化学中毒の疫学的研究、4) その他、ヒトデータを利用した化学物質のリスク評価に関する研究。

## 5. 対象

### 5\_1 対象集団：

医薬品(但し、一部除外あり)、農薬、工業用品、家庭用化学製品等、すべての化学物質による急性中毒症例であり、除外基準に該当しないもの。

### 5\_2 選択基準

急性中毒症例調査用紙の記入と提供、および血液等の検体採取と検体の化学物質の分析に関し、被験者(患者)または代理者(家族等)が同意した急性中毒症例

### 5\_3 除外基準

- ・医薬品のうち「催眠鎮静剤」または「抗不安薬」を摂取したもの、および多剤を摂取した急性中毒症例(注意：配合剤は除外しない)
- ・被験者(患者)または代理者(家族等)の同意が得られない症例
- ・慢性中毒症例
- ・医薬品の副作用等のうち、常用量での有害作用

## 6. 被験者の同意に関する事項

### 6\_1 説明書および同意文書、同意撤回書

基準となる説明書、同意文書、同意撤回書を作成した。各医療機関の倫理審査委員会等の指示に応じて、基準文書を適宜改変したものを用いる。

### 6\_2 同意取得の時期と方法

主治医が、被験者(患者)または代理者(家族等)に対して、治療開始後で本研究に参加する前に、説明文書、同意書、同意撤回書を提示し、十分に説明する。

本研究への参加の同意は、被験者(患者)または代理者(家族等)の自由意思により、文書で得る。

### 6\_3 説明内容

#### 1) 研究目的について

本研究の目的は、化学物質の有害性の評価に、従来のような動物の毒性からヒトの毒性を推定する方法ではなく、ヒトにおける原因化学物質の血中濃度等を含む急性中毒症例のデータを収集し、化学物質のヒトに対する有害性を評価する方法と体制をつくることである。この研究により、医療行政では、全国における中毒事例(健康被害事故)の実態を把握でき、一般市民へは化学物質による健康被害を防ぐための啓発活動、医療機関へは中毒患者の予後推定、治療法確立のための情報提供、企業へは化学物質の安全管理、一般商品の改良の指導等が行えるようになり、国民の安全な生活の確保に寄与することが期待される。



## 2) 研究方法について

- ・ 被験者（患者）から採血し血液試料を保存する。さらに、原因物質確定のため、吐物、胃洗浄液、尿試料等も保存されることがある。凍結保存された試料は代表分析機関を通じて最終的な分析機関に送付され、中毒原因物質についての定量分析が行われる。なお、試料には識別番号が付され、匿名化される。
- ・ 臨床経過や臨床検査値等の臨床データは一連の治療が終了した後に急性中毒調査用紙に記入され、日本中毒情報センターへ郵送される。
- ・ 日本中毒情報センターは各症例に暗号化された識別番号をつけ、データを管理する。
- ・ 収集された症例データは、原因化学物質の血中濃度と、発現した症状、異常検査値、重症度等との関連性等について詳細な分析に供される。
- ・ 研究結果、研究報告書等（プライバシーに関する項は削除）を日本中毒情報センターから、医療機関へ報告することがある。

## 3) 予期される不利益について

- ・ 採血による身体へ侵襲、疼痛等がある。

## 4) 予期される利益について

- ・ 中毒原因物質が確定される可能性が高い。
- ・ 早期に分析ができればという条件付きだが、最適な治療法の選択に役立つ可能性がある。

## 5) 研究への参加・撤回について

- ・ 本研究への参加は自由意思であり参加/不参加または同意撤回によって、被験者（患者）が臨床上の不利益を受けることはない。

## 6) 研究結果の利用について

- ・ 本研究登録前に実施した検査データ等（すなわち、カルテに記載された情報）を利用する場合がある。
- ・ 本研究結果は、各研究員により検討され、研究報告書等として公表される。

## 7) プライバシーの保護について

- ・ 本研究によって収集される個人情報は厳格に管理される。
- ・ 本研究結果が公表される場合、プライバシーに関する秘密は保全される。

## 8) 経済的負担について

- ・ 本研究へ参加することによって、経済的な負担あるいは不利益が生じない。

## 7. 被験者の登録

### 7.1 登録方式

#### 中央登録方式

日本中毒情報センターにて、データマネジメント委員会により症例識別番号（暗号化）が登録される。

### 7.2 登録までの手順

1. 被験者（患者）が医療機関に受診する。
2. 被験者（患者）または代理人（家族等）に研究内容を説明し、同意書をいただく。
3. 被験者（患者）から採血し血液試料を保存する（できれば、原因物質確定のため、吐物、

胃洗浄液、尿試料等も保存しておくといよい)。

4. 日本中毒情報センターへ、症例発生連絡用紙(別紙1)をファクシミリにより連絡する。
5. 日本中毒情報センターは、各症例に暗号化された識別番号をつけ、代表分析機関へも連絡する。

### 7.3 データマネジメント委員会による症例データの収集と固定、管理

1. 医療機関からファクシミリにて送られた症例発生連絡用紙により、症例の発生を確認。
2. 連絡用紙が送付された段階で、データマネジメント委員会が症例に暗号化された識別番号をつける。
3. その後、急性中毒症例用紙(別紙2)が医療機関から郵送される。
4. データマネジメント委員会による不適格症例の排除。
5. 症例収集データベース(マイクロソフトアクセス)へ登録。なお、登録者、閲覧者は、データマネジメント委員会が定める個別の認証番号等で制限する。
6. 急性中毒症例用紙、分析結果報告用紙等はデータマネジメント委員会で、施錠可能な書庫に保管する。

## 8. 分析試料に関する事項

### 8.1 試料の採取、保存、送付等

試料の採取、保存、送付：別紙3のプロトコールにより採取、保存、および送付する。

試料保管法：代表分析機関および協力分析機関においては、データマネジメント委員会で暗号化された試料番号が明記された試料を、施錠ができる部屋の-20℃冷凍庫に、保管する。

試料の廃棄：代表分析機関の分析担当者は、分析結果を報告した後、試料を適切な方法で速やかに廃棄し、廃棄記録を保存する。

### 8.2 試料の分析

- ・ 代表分析機関は、原因物質群ごとに分析を担当する機関を調整する。
- ・ 分析手法は目標物質によって異なるため、別個に検討する。

### 8.3 分析の費用

- ・ 特殊定量分析にかかる費用は研究資金より支払われ、症例収集機関および患者が負うことはない。

### 8.4 分析結果の報告

- ・ 代表分析機関の分析担当者は、分析結果を依頼医療機関およびデータマネジメント委員会へ、分析の結果を文書にて速やかに報告する。

## 9. 研究結果の解析

収集されたヒト急性中毒症例データは、日本中毒情報センターから各研究班員へ送付され、個別にあるいは合同で、以下を検討する。

- ・ 迅速分析法の評価：各医療機関で行われる迅速分析法の臨床的意義の検討、精密定量分析との精度比較および精度管理、有用な迅速分析手法の開発等。
- ・ ヒト急性中毒症例の重症度評価への応用： IPCSが提唱している急性中毒症例評価のための Poisoning Severity Score (各器官・臓器別の症状や臨床検査値等から軽症、中等症、重症、死亡に分類した1～4のスコア)を参考に、日本における中毒症例重症度評価の方法を検討する。さらに、収集したヒト中毒症例の評価を試みる。
- ・ ヒト急性中毒症例の予後推定：収集された症例の分析値から、血中濃度と毒作用のノモグラムを作成する。あるいは、摂取量が明らかな症例の血中濃度曲線から、摂取量が不明の症例について体内動態シミュレーションを行う。こうした中毒症例の予後の推測が毒物の定量分析によって可能かどうか、とくに迅速分析法の開発ともあわせて検討を行う。
- ・ ヒト急性中毒症例からのリスク評価：収集されたヒト中毒症例から化学物質のリスク評価が可能かどうか、毒性学的立場から評価し検討を行う。
- ・ 急性化学中毒の疫学的検討

## 10. 研究結果の報告

被験者（患者）の血液試料等の分析結果は、分析終了後、代表分析機関の分析担当者から各医療機関の担当者へ報告される。なお、緊急分析ではないため報告時期は、一定ではない。

研究報告書は、研究終了後、日本中毒情報センターから各医療機関へ送付される。なお、報告書作成・印刷等のため、報告時期は次年度6月頃である。

## 11. 研究の倫理的配慮

### 11\_1 倫理審査委員会等

本研究計画書について、その倫理的および科学的妥当性が各機関の倫理審査委員会、機関審査委員会 (IRB ; Institutional Review board)、あるいは臨床研究の審査委員会等で審査され、承認される。

### 11\_2 被験者（患者）の人権保護

- ・ 本研究への参加あるいは離脱にさいして、被験者（患者）あるいは代理者（家族等）の自由な意思決定が保証される。とくに、本研究への参加/不参加が患者の治療に影響しないことが保証される。
- ・ データマネジメント委員会は、原資料あるいは作成されたデータベースの閲覧にあたり、被験者のプライバシーを保全する。また研究結果が公表される場合も、被験者の身元の秘密を保全する。

別紙 1

年 月 日

財団法人 日本中毒情報センター  
 本部事務局 ヒト急性中毒症例収集担当 行  
 FAX : 029-856-3533

急性中毒症例の発生連絡 (FAX 用紙)

連絡者	所属		氏名	
担当医師	所属		氏名	
病院名				
住所				
電話番号		FAX 番号		

\*可能な範囲で結構ですので、[ ] 内は該当するものに○を、( ) にはご記入をお願いします。

- 1) 患者イニシャル( )
- 2) 患者年齢 ( )才( )か月 [確定・推定・不明]
- 3) 患者性別 [男性・女性]
- 4) 推定起因物質名 ( )  
 含有成分( )
- 5) 推定摂取量 ( ) 単位[mL・L・mg・g・その他( )]
- 6) 摂取時間 ( )月( )日( )時( )分(24 時間表記) [確定・推定・不明]
- 7) 受診時間 ( )月( )日( )時( )分(24 時間表記)
- 8) その他

\*急性中毒症例調査用紙は治療終了後に記入し、次の担当者へご送付くださいますようお願い申し上げます。

(財)日本中毒情報センター 本部事務局 ヒト急性中毒症例収集担当 黒木/飯田  
 〒305-0005 つくば市天久保 1-2 つくば総合健診センター内 TEL 029-856-3566

記入年月日 20 年 月 日

施設名										
記入者名										
記入者所属							連絡先TEL			
患者	年齢	歳	カ月	男・女	体重( )kg	職業( )				
既往症の有無	1. 無, 2. 有( )						9. 不明			
中毒原因物質	商品名(物質名)						量(単位もあわせて)			
経路	1. 経口, 2. 吸入, 3. 経皮, 4. 眼, 5. 耳, 6. 咬傷, 7. 刺傷, 8. 注射(具体的に ), 9. 粘膜(具体的に ), 10. 胎盤, 11. 全身曝露, 98. その他(具体的に ), 99. 不明									
発生年月日	20	年	月	日	時	分	(24時間表記) (午前・午後) (確定・推定・不明)			
発生場所	1. 居住内, 2. 職場(具体的に ), 3. 医療施設, 4. 高齢者施設, 5. 学校・幼稚園・保育所, 6. 屋内の公共スペース(具体的に ), 7. 車内(具体的に ), 8. 屋外(具体的に ), 9. その他(具体的に ), 99. 不明									
状況	1. 不慮 [1. 労災, 2. 医療上の事故, 3. その他の誤使用, 8. その他の不慮の事故, 9. 不明] 2. 故意 [1. 自殺企図, 2. 医療上の事故, 3. その他の誤使用, 4. 乱用, 6. 悪意による事故, 9. 不明] 8. その他(具体的に ), 9. 不明									
現病歴 /曝露状況										
受診年月日	20	年	月	日	時	分	(24時間表記)			
症状の有無	来院前(主訴)		1. 無, 2. 有, 9. 不明							
	来院時(初診時所見)		1. 無, 2. 有							
	初診時 体温 ℃, 血圧 / , 脈拍数 /分, 呼吸数 /分, 意識レベルGCS=E( )V( )M( )									
	来院後(経過中症状)		1. 無, 2. 有							
処置の有無	来院前		1. 無, 2. 有, 9. 不明							
	来院後		1. 無, 2. 有							
診断										
症状との因果関係	1. 無, 2. 有→( )						9. 不明			
入院期間	20	年	月	日	~	20	年	月	日	
外来通院期間*	20	年	月	日	~	20	年	月	日	*退院後フォローを含む
転院有無	1. 無, 2. 有→転院目的 1. 重症管理, 2. 略治フォロー, 3. 中毒以外の基礎疾患の治療, 8. その他(具体的に )									
	転院先病院名, 診療科, 担当医名, 電話番号									
転帰	1. 完治, 2. 略治, 3. 死亡, 9. 不明 死亡の場合 死亡年月日・時刻 月 日 時 分 死因:									
後遺症の有無	1. 無, 2. 有→( )						9. 不明			
重症度	1. 無症状, 2. 軽症, 3. 中等症, 4. 重症, 5. 死亡									

器官別	登録症状 (該当するものに○)	症状・徴候 (該当するものに○)	出現年月日・時刻	消失年月日・時刻	特記事項	
曝露時の 刺激症状・ 不定愁訴	経口摂取時の刺激症状	口唇・舌のしびれ感/刺激感/灼熱感/咽頭部不快感/咽頭部絞扼感/食道痛	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明		
	呼吸器の刺激症状	鼻汁/鼻閉/鼻かぜ/くしゃみ/咳嗽/呼吸困難/胸部不快感(吸入)/咳痰	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明		
	消化器系の刺激症状	悪心/嘔気/嘔吐/食欲不振/腹部不快感/胸部不快感(経口)	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明		
	神経系の刺激症状	頭痛/頭重/めまい/耳鳴り	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明		
	循環器系の刺激症状	動悸/心悸亢進	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明		
	顔面紅潮	顔面紅潮/発汗/冷汗/四肢温感	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明		
	顔面蒼白	顔面蒼白/倦怠感/疲労/四肢冷感	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明		
	発熱 [体温は特記事項へ]	悪寒/発熱/高体温	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明		
	体温低下 [体温は特記事項へ]	体温低下	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明		
	胸痛	胸痛/非心原性胸痛/胸部圧迫感	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明		
	失神	失神/脱力感	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明		
	失禁	尿失禁/便失禁	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明		
	呼吸器 症状	頻呼吸 [呼吸数は特記事項へ]	頻呼吸/過呼吸	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
		呼吸抑制 [呼吸数は特記事項へ]	呼吸抑制/呼吸数減少/低換気/無呼吸/窒息/クスマウル大呼吸	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
努力性呼吸		努力性呼吸/陥没呼吸/シーソー呼吸/緩徐呼吸/起座呼吸	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明		
咽頭・喉頭浮腫		咽頭・喉頭浮腫/声門浮腫/咽頭・喉頭攣縮/上気道浮腫	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明		
喘息様発作		喘息様発作/喘息/喘鳴/気管支攣縮/気管支痙攣	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明		
湿性ラ音		湿性ラ音	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明		
呼吸筋麻痺		呼吸筋麻痺/呼吸麻痺	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明		
呼吸不全		呼吸不全/ARDS	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明		
肺水腫		ピンクの泡沫状痰	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明		
喀血		喀血	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明		
循環器 症状		チアノーゼ	チアノーゼ	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	浮腫	浮腫/血管透過性の亢進	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明		
	頻脈 [脈拍は特記事項へ]	頻脈	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明		
	徐脈 [脈拍は特記事項へ]	徐脈	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明		
	不整脈(EKGなし)	不整脈	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明		
	高血圧 [血圧は特記事項へ]	高血圧/血圧上昇	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明		
	低血圧 [血圧は特記事項へ]	低血圧/血圧低下/ショック/脈拍微弱	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明		
心不全	心不全/心筋障害/心機能不全/うっ血性心不全	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明			
消化器系 症状	口臭	金属臭/にんにく臭/フェノール呼気臭/アーモンドオイル臭/ニコチン臭	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明		
	口渇	口渇/口内乾燥感	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明		
	味覚異常	味覚・嗅覚機能の低下/苦味/酸味/金属味	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明		

器官別	登録症状 (該当するものに○)	症状・徴候 (該当するものに○)	出現年月日・時刻	消失年月日・時刻	特記事項
	嚥下困難	嚥下困難	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	口腔粘膜異常	口腔内浮腫/口内粘膜の発赤/口腔・咽頭粘膜の充血/口内びらん/口腔の粘膜欠損/口腔内黄白色潰瘍形成/口腔内出血/歯肉に青い線/舌潰瘍/咽頭粘膜のびらん/口内炎/舌炎/歯肉炎/黒毛舌症/唾液腺炎/咽頭炎	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	唾液分泌異常	唾液分泌過多/流涎/唾液・消化液の分泌低下	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	嘔吐 (経口時の一般症状と区別)	激しい嘔吐/頻回の嘔吐	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	下痢	軟便/粘液便/粘血便/下痢	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	便秘	便秘	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	消化管出血	消化管出血/吐血/血便/血性下痢/タール便/下血	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	消化管穿孔	消化性潰瘍/食道・胃穿孔/消化管穿孔/食道壊死	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	腹痛	吃逆/胸やけ/おくび(げっぷ)/上腹部不快感/下腹部不快感/心窩部圧迫感/腹部膨満感/心窩部痛/上腹部痛/腹部痙攣/腹部痙攣/胃痙攣/子宮収縮/流産	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	腸蠕動亢進	鼓腸	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	腸蠕動低下	腸蠕動の低下・消失/イレウス/麻痺性イレウス	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	脾臓の異常	脾炎	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	脾腫	脾腫	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
神経・精神 症状	意識障害 【意識レベルは特記事項へ】	意識障害/興奮/酩酊/傾眠/嗜眠/昏迷/昏睡/中枢神経抑制	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	見当識障害	見当識障害	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	記憶障害	記憶障害/健忘症	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	言語障害	言語障害/構語障害/失語症	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	精神症状	せん妄/パニック/不安/器病錯乱/興奮多幸症	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	幻覚	幻聴/幻視	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	感覚異常	四肢しびれ感/末梢の灼熱感/知覚異常/先端疼痛症/知覚鈍麻/知覚脱失/固有感覚障害(触覚、振動感覚の減弱)/末梢神経炎	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	ギランバレー症候群	ギランバレー症候群	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	痙攣	痙攣/振戦/ふるえ/ミオクローヌス様の痙攣/テタニー/強直性発作/ミオクローヌス	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	筋線維性痙攣	筋線維性痙攣	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	腱反射減弱	深部腱反射の減弱	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	腱反射亢進	深部腱反射の亢進	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	運動失調	運動失調/協同運動失調/パーキンソン症候群/舞蹈病/跳躍病/歩行失調/判読しにくい筆跡	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
筋力低下	筋力低下/脱力/筋の緊張低下/弛緩性麻痺/四肢麻痺/不全麻痺	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明		
肝症状	肝臓の異常	肝腫大/肝の圧痛/急性肝炎/劇症肝炎/肝性昏睡/肝障害/肝毒性/肝炎/腹水/肝不全/脂肪肝/黄疸/肝細胞性黄疸/胆汁うっ滞性黄疸/胆道閉塞性黄疸	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
腎・泌尿器 症状	排尿障害・尿閉	排尿障害/排尿痛/尿閉	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	腎不全	腎不全/急性尿細管壊死/近位尿細管損傷/腎尿細管障害/腎障害/腎毒性/腎炎/乏尿/尿量減少/無尿/濃縮尿/低張尿	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	尿色調・臭の異常	着色尿/暗赤色尿/アーモンドオイル臭尿/褐色尿/オヘモグロビン尿	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	

器官別	登録症状 (該当するものに○)	症状・徴候 (該当するものに○)	出現年月日・時刻	消失年月日・時刻	特記事項
	血尿(肉眼的)	血尿(肉眼的)	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
眼症状	視力障害	視力障害/一過性の盲目/視野狭窄/複視/視界の白色化/霧視/弱視/失明	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	羞明・眼痛	羞明/眼痛	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	色覚異常	色覚異常	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	縮瞳	縮瞳	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	散瞳	散瞳	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	対光反射の遅延	対光反射の遅延/対光反射の遅鈍化	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	眼振	眼振/垂直眼振/眼筋麻痺	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	角膜・結膜異常	角膜刺激症状/眼球穿孔/結膜刺激症状/結膜炎/流涙/充血	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	眼内異常(眼底所見全て)	虹彩炎/水晶体色素沈着/白内障/球後神経炎/視神経炎	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
耳鼻咽喉症状	口腔粘膜刺激症状	咽頭痛/粘膜浮腫/粘膜腐食	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	発声異常	失声/嘔声	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	聴力障害	聴力障害/聴力低下	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	鼻粘膜刺激症状	鼻漏/刺激症状/充血/鼻出血/紅斑/浮腫/鼻中隔潰瘍・穿孔	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	嗅覚異常	嗅覚異常/嗅覚喪失	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	皮膚症状・その他	関節痛	関節痛	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明
筋痛		筋痛	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
皮膚の異常		湿疹/紅斑/出血斑/落屑/尋麻疹/塩素性そう/丘疹/紅色粟粒疹/水泡/蜂巣炎/黄斑/白斑/脱色/接触性皮膚炎/皮膚潰瘍/熱傷/乾燥/発赤/浮腫/壊死	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
爪・毛髪の異常		爪異常/脱毛	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
その他			月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
			月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	

その他 症状関連 特記事項



臨床化学検査成績 (別紙添付でも可)

検査項目	正常値	(単位)	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日
			時	分	時	分	時	分	時	分	時	分
赤血球(RBC)												
白血球(WBC)												
血糖(BS)												
AST(GOT)												
ALT(GPT)												
LDH												
クレアチンキナーゼ(CK)												
コリンエステラーゼ(ChE)												
アンモニア(NH <sub>3</sub> )												
総ビリルビン(TB)												
PT												
PTT												
BUN												
クレアチニン(Cr)												
ナトリウム(Na)												
カリウム(K)												
カルシウム(Ca)												
無機リン(IP)												
マグネシウム(Mg)												
メトヘモグロビン(MetHb)												
COヘモグロビン(COHb)												
FiO <sub>2</sub>	-											
pH												
PO <sub>2</sub>												
PCO <sub>2</sub>												
BE												
HCO <sub>3</sub> <sup>-</sup>												

その他検査

検査項目	検査日	時刻	所見	特記事項
単純X線撮影	月 日	時 分		
CT	月 日	時 分		
MRI	月 日	時 分		
超音波検査[エコー]	月 日	時 分		
内視鏡検査	月 日	時 分		
心電図検査(EKG)	月 日	時 分		
心臓カテーテル	月 日	時 分		
脳波検査(EEG)	月 日	時 分		
脳誘発電位	月 日	時 分		
体性感覚誘発電位(SEP)	月 日	時 分		
筋電図検査(EMG)	月 日	時 分		
呼吸機能検査	月 日	時 分		
フローボリュームカーブ	月 日	時 分		
呼気ガス分析	月 日	時 分		
標準聴力検査	月 日	時 分		
平衡機能検査	月 日	時 分		
眼底検査	月 日	時 分		
基礎代謝率	月 日	時 分		
病理組織検査	月 日	時 分		
	月 日	時 分		

治療大分類	治療小分類	内容							
表面除染	皮膚除染	月	日	時	洗浄液		総洗浄量	L	
	眼洗浄	月	日	時	洗浄液		総洗浄量	mL	
	その他								
希釈	希釈(水・ミルクの摂取)	月	日	時	摂取物質		摂取量	mL	
消化管除染	消化管除染の有無	1. 無し, 2. 有り							
	胃洗浄	月	日	時	洗浄液		総洗浄量	L	
	催吐-物理刺激	月	日	時					
	催吐-吐根投与	月	日	時					
	活性炭投与	月	日	時	投与物質		投与量	g	
	その他の吸着剤投与	月	日	時	投与物質		投与量	g	
	下剤投与	月	日	時	投与物質		投与量	g	
	腸洗浄	月	日	時	洗浄液		総洗浄量	L	
	内視鏡的除去	月	日	時					
	その他								
対症療法 ・支持療法	酸素マスク	1. 無し, 2. 有り			心マッサージ	1. 無し, 2. 有り			
	挿管	1. 無し, 2. 有り			除細動	1. 無し, 2. 有り			
	人工呼吸	1. 無し, 2. 有り			ペースメーカー	1. 無し, 2. 有り			
	輸液	1. 無し, 2. 有り			加温	1. 無し, 2. 有り			
	輸血	1. 無し, 2. 有り			冷却	1. 無し, 2. 有り			
	アシドーシスの補正	1. 無し, 2. 有り							
	抗痙攣剤の使用	1. 無し, 2. 有り							
	昇圧剤の使用	1. 無し, 2. 有り							
	その他								
	解毒剤 ・拮抗剤	解毒剤・拮抗剤の使用	1. 無し, 2. 有り						
アトロピン		経路(静注・その他)			一回投与量	mg×	回	期間	月 日～月 日
ヨウ化ブラリドキシム (PAM)		経路(静注・その他)			一回投与量	mg×	回	期間	月 日～月 日
アセチルシステイン		経路(経口・その他)			一回投与量	mg×	回	期間	月 日～月 日
塩化カルシウム		経路(静注・その他)			一回投与量	mg×	回	期間	月 日～月 日
グルコン酸カルシウム		経路(経皮・皮下注・その他)			一回投与量	mg×	回	期間	月 日～月 日
亜硝酸アミル		経路(吸入・その他)			一回投与量	mL×	回	期間	月 日～月 日
亜硝酸ナトリウム		経路(静注・その他)			一回投与量	mg×	回	期間	月 日～月 日
チオ硫酸ナトリウム		経路(静注・その他)			一回投与量	mg×	回	期間	月 日～月 日
ヒドロキシコバラミン		経路(静注・その他)			一回投与量	mg×	回	期間	月 日～月 日
メチレンブルー		経路(静注・経口・その他)			一回投与量	mg×	回	期間	月 日～月 日
ジメルカプロール (BAL)		経路(筋注・その他)			一回投与量	mg×	回	期間	月 日～月 日
デフェロキサミン		経路(静注・その他)			一回投与量	mg×	回	期間	月 日～月 日
EDTA (エデト酸カルシウム二ナトリウム)		経路(静注・その他)			一回投与量	mg×	回	期間	月 日～月 日
ペニシラミン		経路(経口・その他)			一回投与量	mg×	回	期間	月 日～月 日

治療大分類	治療小分類	内容	一回投与量	単位	回数	期間	月	日	月	日
	エタノール	経路(静注・経口・その他) 使用物質・濃度( )		mL×	回	期間	月	日	月	日
	葉酸	経路(皮下注・筋注・その他)	一回投与量	mg×	回	期間	月	日	月	日
	メナデトロン (ビタミンK2)	経路(静注・筋注・その他)	一回投与量	mg×	回	期間	月	日	月	日
	フィトナジオン (ビタミンK1)	経路(静注・筋注・その他)	一回投与量	mg×	回	期間	月	日	月	日
	フィソステグミン	経路(静注・その他)	一回投与量	mg×	回	期間	月	日	月	日
	ナロキソン	経路(静注・その他)	一回投与量	mg×	回	期間	月	日	月	日
	ダントロレンナトリウム	経路(静注・その他)	一回投与量	mg×	回	期間	月	日	月	日
	フルマゼニル	経路(静注・その他)	一回投与量	mg×	回	期間	月	日	月	日
	メシル酸フェントラミン	経路(静注・筋注・その他)	一回投与量	mg×	回	期間	月	日	月	日
	グルカゴン	経路(静注・筋注・その他)	一回投与量	単位×	回	期間	月	日	月	日
	グルコース	経路(静注・その他)	一回投与量	mg×	回	期間	月	日	月	日
	ピリドキシン	経路(静注・皮下注・筋注・その他)	一回投与量	mg×	回	期間	月	日	月	日
	抗蛇毒血清	投与物質	一回投与量	単位×	回	期間	月	日	月	日
	その他の抗毒素血清	投与物質	一回投与量	単位×	回	期間	月	日	月	日
	高圧酸素療法(OHP)	月 日		気圧×	時間					
	その他									
排泄促進	強制換気	1. 無し, 2. 有り					月	日		
	強制利尿	1. 無し, 2. 有り					月	日		
	血液透析	1. 無し, 2. 有り				時間×			回	
	腹膜透析	1. 無し, 2. 有り				時間×			回	
	血液灌流・吸着	1. 無し, 2. 有り				時間×			回	
	血液限外濾過	1. 無し, 2. 有り				時間×			回	
	血漿交換	1. 無し, 2. 有り					月	日	回	
	交換輸血	1. 無し, 2. 有り					月	日	回	
	その他									
無処置	経過観察	1. 無し, 2. 有り								
	拒否	1. 無し, 2. 有り								

その他 治療関連 特記事項

原因化学物質	分析の有無	1. 無し, 2. 有り (定性・定量)	検体: 血清・尿・その他( )
	化学物質名		
	分析方法		
結果	検体採取	月 日 時 分	定量値 単位 特記事項
		月 日 時 分	
		月 日 時 分	

---

症例サマリー 貴施設のサマリー添付でも結構ですが、個人が特定されない形式でお願い致します

---

主治医コメント 中毒原因物質と症状の因果関係等を含め、先生のお感じになったことをお書きください